

2023年度の主な取組

■ 市町村域水道事業（13水道事業）



市町村域水道事業の耐震化目標について教えて！

各水道事業で施設や財政等の状況を考慮し、「老朽度」や「管の種類」などから優先すべき施設整備や管路の更新・耐震化を計画し目標を設定しています。

また、一部の水道事業で管路の耐震管率の目標が基準年度と同じ値になっているのは、耐震管以外でも「布設された地盤の状況などから耐震性があると評価できる管」があり、これらが更新基準年数を経過していない場合は、計画期間中の更新を見込んでいないためです。

■ 熊取水道事業



- 【凡例】
- ◆ 水道センター
 - 浄水施設
 - 配水池
 - ▲ ポンプ場
 - 主要な既設管路
 - 2023年度整備箇所

	基準年度 (2021年度)	2022年度 実績	2023年度 実績	目標 (2029年度)
管路の耐震管率				
基幹管路	43%	49%	49%	48%
重要給水 施設管路	55%	60%	63%	78%

2023年度の執行額は12.1億円で、実施した主な事業は次のとおりです。



施設の最適配置

- 希望が丘受水・配水場
配水池及び事務所棟建築工事

更新時期を迎えた配水池及び事務所棟の更新・耐震化を2021年度から実施しており、2023年度に完成しました。

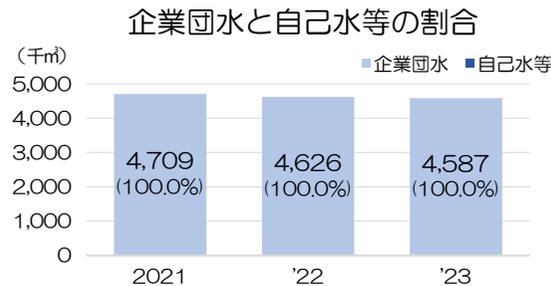
2023年度
執行額 524百万円

その他の取組

- 配水管等布設替工事及び下水道工事等に伴う配水管移設工事を実施しました。

熊取水道事業

給水人口や給水量の推移



2023年度末の給水人口は42,656人で、前年度と比べて180人(0.4%)減少しています。また、給水戸数は18,393戸で87戸(0.5%)増加しています。年間給水量は4,587千m³で、前年度と比べて39千m³(0.8%)減少しています。なお、給水量のうち企業団水の占める割合は100%です。

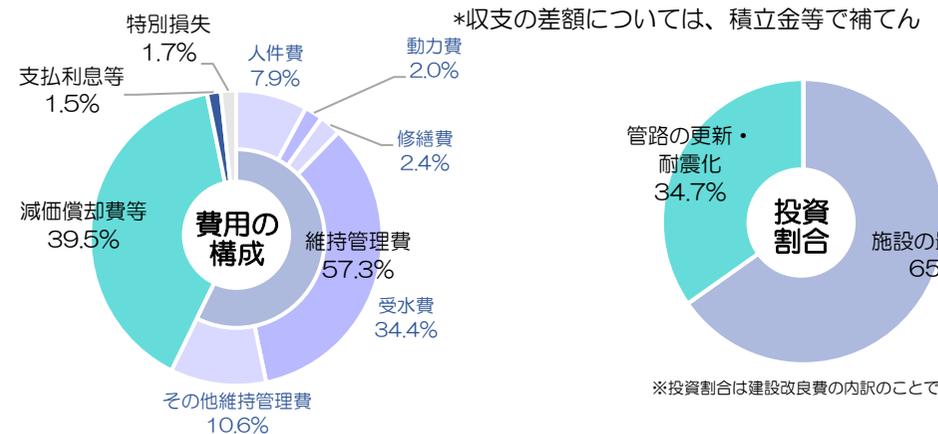
財政収支

(単位：百万円、税抜)

収益的収支	2022決算(a)	'23決算(b)	差引(b)-(a)
収 益	982	963	△ 19
給水収益	746	744	△ 2
長期前受金戻入	210	173	△ 37
その他収入	26	31	5
特別利益	0	15	15
費 用	910	958	48
維持管理費	543	550	7
減価償却費等	355	378	23
支払利息	12	14	2
特別損失	0	16	16
単年度損益	72	5	△ 67

(単位：百万円、税込)

資本的収支	2022決算(a)	'23決算(b)	差引(b)-(a)
収 入	773	1,004	231
企業債	332	532	200
国庫補助金等	190	229	39
その他収入	251	243	△ 8
支 出	1,011	1,379	368
建設改良費	886	1,252	366
企業債償還金	125	127	2
その他支出	-	-	-
収支の差額	△ 238	△ 375	△ 137



収益は、有収水量の減少により給水収益が減少したことや、長期前受金戻入が減少したことなどにより、前年度と比べると19百万円減少しました。費用は、減価償却費等が増加したことなどにより、前年度と比べると48百万円増加しました。これらの結果、単年度利益は前年度に比べ67百万円減少し、5百万円となりました。

*投資割合は建設改良費の内訳の事です。

財政収支の推移



経営評価

○：計画を達成 △：計画を概ね達成（計画値との乖離が5%未満） ×：計画を未達成



〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

2023年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べると、減価償却費等が増加したことから、7.5ポイント減少しています。

【参考:2022年度類似団体平均値108.0%】



〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

2023年度の実績は、計画を達成しました。なお、前年度と比べると、企業債残高が増加したことから、55.2ポイント増加しています。

【参考:2022年度類似団体平均値386.6%】



〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

※供給単価＝給水収益／有収水量

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

2023年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べると、減価償却費等が増加したことから、9.9ポイント減少しています。

【参考:2022年度類似団体平均値93.8%】

※熊取水道事業については、2021年4月に統合したため、経営戦略において2021年度以前の計画値を設定していないことから、2022年度から2024年度までの3か年の推移をお示ししています。